

流研ロングタームフォーキャスト2025

—2040年までの消費市場と小売業態構造予測—

「流研ロングタームフォーキャスト2025」は、食品小売市場における小売業態別・都道府県別の2024年度から2040年度までの食品販売額と食品販売額シェアを流通経済研究所が独自推計し、小売業態構造を予測したデータ集です。



✓ 人口減少時代における今後の日本の食品市場の“見通し”は？

✓ 今後のドラッグストアの成長は？ スーパーやコンビニなど他業態とのシェアは？

➔ このような問題意識にお役立ていただける資料をご提供いたします。

※予測には、国民(県民)経済計算、国勢調査、商業動態統計、将来推計人口、各業態の食品販売額データなどを用いました。

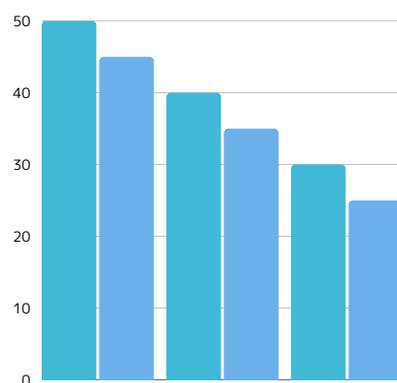
※予測データ(Excel)と解説資料(PDF)をご納品いたします。

＜＜対象地域＞＞

- ・ 11地域ブロック別
(北海道、東北、北関東、南関東、甲信越、北陸、東海、近畿、中国、四国、九州)
- ・ 47都道府県別

＜＜対象業態＞＞

- ・ 食品小売市場(全体)
- ・ スーパー(総合スーパー+食品スーパー+生協店舗)
- ・ コンビニエンスストア
- ・ ドラッグストア
- ・ 生協宅配
- ・ インターネット通信販売/その他



本商品をご購入いただいた方には、弊所担当研究員が「ご訪問」ないし「オンライン」にて個別に、内容の解説とディスカッションを実施させていただきます(1時間程度)。

納品物のイメージ

①予測データ(Excel)について

- データは、Excel形式で、小売業態別にシートが分かれています。
- 1シートには、食品販売額と食品販売額シェアがあり、都道府県別・地域ブロック別に2024-2040年度までの予測値を掲載しています。

スーパー(SM)の食品販売額	スーパー(SM)の食品販売額シェア
都道府県別の 食品販売額(百万円) (2023年度~2040年度) を掲載	都道府県別の 食品販売額シェア(%) (2023年度~2040年度) を掲載

②解説資料(PDF)について

- 今回の予測に用いたデータ内容、分析の手順、考え方、2014年度から2023年度までの食品販売額、業態シェアの分析結果、2024年度から2040年度の予測の内容を解説します。

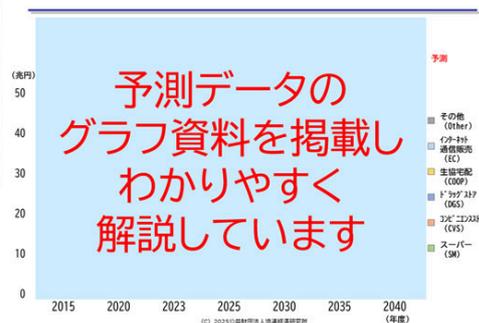
《目次》

1. 予測結果のサマリー
2. 食品小売市場と小売業態別食品販売額・シェアの実態
3. 食品小売市場と小売業態別食品販売額・シェアの予測
4. 提供データ概要



公益財団法人 流通経済研究所

1-1. 食品小売市場予測結果サマリー



○ご購入費用：税抜60万円 (税込66万円)

○申込方法：弊所HPよりお申込みください

<https://www.dei.or.jp/information/yosoku2040>

○その他の条件

- 本データの購入をお申込み頂ける企業様は、メーカー・卸売業・小売業に限定させていただきます。
- 解説資料、本データの無断転載はお断りいたします。営業資料等で自社以外に配布される場合は、別途お問合せください。

HPのQRコードは
↓こちら↓

